

授業コード	12583	授業題目	アジア経済社会論演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年	開講時期	2学期	曜日・時限	金曜1限
担当教員名	岩佐 和幸			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	088-844-8244			担当教員E-Mail	<a href="mailto:kiwasa@kochi-u.ac.jp">kiwasa@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	アジア(中国)の発展について考える
授業計画	1学期に引き続き、アジア(今年は中国)を念頭に置きながら、経済発展論の理論的枠組みについて、古典や最新の研究を素材に検討する。特に、産業間(農業・工業間)・地域間(都市 - 農村間)の不均衡発展や不平等の分析視角について、議論を行う予定。また、参加者のテーマに沿った研究報告を、定期的に行う。
各科目の目標(達成水準)	経済発展論、特に国内市場形成論を中心とする理論・方法論の理解が主な目標。
参考文献等	
教科書	レーニン『ロシアにおける資本主義の発展 - 大工業のための国内市場の形成過程』1899年(日本語訳は『レーニン全集』第3巻、その他中国語訳、英語訳も使用予定)
成績評価の基準と方法	毎回の出席ならびに議論への参加状況を基に総合的に評価

授業コード	12584	授業題目	アジア経済社会論演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2年	開講時期	1学期	曜日・時限	金曜2限
担当教員名	岩佐 和幸			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	088-844-8244			担当教員E-Mail	<a href="mailto:kiwasa@kochi-u.ac.jp">kiwasa@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	グローバル化時代における平和学
授業計画	グローバル化時代における平和学のプロブレマティークについて、先行研究ならびに参加者の研究報告を素材に検討する。とりわけ、今日問題になっている憲法9条をめぐる歴史的・現代的考察について光を当てる。
各科目の目標(達成水準)	現行の議論の水準を理解することが主な目標。
参考文献等	最上敏樹『いま平和とは』岩波新書、2006年、渡辺治『憲法「改正」は何をめざすか』岩波書店、2001年、同『憲法「改正」 軍事大国化・構造改革から改憲へ』旬報社、2005年等
教科書	
成績評価の基準と方法	毎回の出席ならびに議論への参加状況を基に総合的に評価

授業コード	12517	授業題目	アジア経済社会論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	岩佐 和幸			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	088-844-8244			担当教員E-Mail	<a href="mailto:kiwasa@kochi-u.ac.jp">kiwasa@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	アジア(中国)の発展について考える
授業計画	アジア(今年は中国)を念頭に置きながら、経済発展論の理論的枠組みについて、古典や最新の研究を素材に検討する。特に、産業間(農業・工業間)・地域間(都市 - 農村間)の不均衡発展や不平等の分析視角について、議論を行う予定。また、できれば、参加者のテーマに沿った研究報告も行う。
各科目の目標(達成水準)	経済発展論、特に国内市場形成論を中心とする理論・方法論の理解が主な目標。
参考文献等	基本的にはテキストを輪読する方式をとり、毎回レポーターによる発表をもとに、議論を行う。そのため、事前のテキストの読み込みは必修。加えて、日常の社会経済情勢についてもキャッチしておくこと
教科書	レーニン『ロシアにおける資本主義の発展 - 大工業のための国内市場の形成過程』1899年(日本語訳は『レーニン全集』第3巻、その他中国語訳、英語訳も使用予定)
成績評価の基準と方法	毎回の出席ならびに議論への参加状況を基に総合的に評価

授業コード	12471	授業題目	アメリカ言語文化論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1学年	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	上岡克己			担当教員所属	人文科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8197			担当教員E-Mail	<a href="mailto:kamioka@kochi-u.ac.jp">kamioka@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	アメリカの自然と文学
授業計画	アメリカの自然と文学の関係を考察する。特に重要だと思われる作家・作品に焦点をあてて、探究する。
各科目の目標(達成水準)	アメリカの環境思想の概略が理解できることを目標とする。
参考文献等	『アメリカの環境保護運動』『自然の権利』
教科書	ソロー『森の生活』(岩波文庫)
成績評価の基準と方法	出席、平常成績、レポートの総合評価

授業コード	12411	授業題目	アメリカ言語文化論特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1学年	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	上岡克己			担当教員所属	人文科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8197			担当教員E-Mail	<a href="mailto:kamioka@kochi-u.ac.jp">kamioka@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	アメリカの自然と文学
授業計画	アメリカの自然と文学について概説する。特にソロー、ミューア、レオポルド、カーソンについて詳しく考察する。
各科目の目標(達成水準)	アメリカの環境思想の概観を理解する。
参考文献等	『アメリカの環境保護運動』
教科書	ナッシュ『自然権』等
成績評価の基準と方法	出席と平常成績、レポートの総合評価

授業コード	12459	授業題目	外国語習得論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	村端五郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8217			担当教員E-Mail	<a href="mailto:murahata@kochi-u.ac.jp">murahata@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	外国語習得のメカニズム、教授・学習環境、自律学習
授業計画	受講生の興味関心のある最新の研究論文を読み、研究手法の妥当性や研究結果の解釈、考察について批判的に議論して行く。1)オリエンテーション、2)～15)論文の講読・批判的議論
各科目の目標(達成水準)	研究論文の発掘から批判的な論文講読を通して、大学院生に相応しい研究姿勢を身に付ける。
参考文献等	なし
教科書	配付資料による
成績評価の基準と方法	出席、予習及び授業内での発表、議論の内容により総合的に評価する。

授業コード	12460	授業題目	外国語習得論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2年	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	村端五郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8217			担当教員E-Mail	<a href="mailto:murahata@kochi-u.ac.jp">murahata@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	外国語習得のメカニズム、教授・学習環境、自律学習
授業計画	受講生の興味関心のある最新の研究論文を読み、研究手法の妥当性や研究結果の解釈、考察について批判的に議論して行く。1)オリエンテーション、2)～15)論文の講読・批判的議論
各科目の目標(達成水準)	研究論文の発掘から批判的な論文講読を通して、大学院生に相応しい研究姿勢を身に付ける。
参考文献等	なし
教科書	配付資料による
成績評価の基準と方法	出席、予習及び授業内での発表、議論の内容により総合的に評価する。

授業コード	12405	授業題目	外国語習得論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	村端五郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8217			担当教員E-Mail	<a href="mailto:murahata@kochi-u.ac.jp">murahata@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	外国語習得のメカニズム、教授・学習環境、自律学習
授業計画	第二言語習得研究の歴史や関連研究分野及び今日的課題について習得することを目的とする。1)オリエンテーション、2)～15)教科書にそって講義する。
各科目の目標(達成水準)	第二言語習得研究に関する基本的知識を習得する。
参考文献等	なし
教科書	外国語学習に成功する人、しない人 - 第二言語習得への招待
成績評価の基準と方法	出席、予習及び授業内での発表、議論の内容により総合的に評価する。



授業コード	12507	授業題目	比較企業経営特論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	1学期	曜日・時限	火曜 6限
担当教員名	岡田尚三			担当教員所属	人文社会科学研究所国際交流研究		
担当教員電話	844-8229			担当教員E-Mail	<a href="mailto:okada@kochi-u.ac.jp">okada@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし。
教員研究テーマ	移行経済下のロシア農業企業の組織と管理
授業計画	<p>テーマ：日本的(型)経営の構造と機能</p> <p>この授業では、日本において企業というものがどういった位置と役割を果たしてきたか、また、同時に日本的(型)経営、その構成要素である特殊な経営理念、経営組織、経営政策がどのようにして形成されてきたかを、歴史、企業形態、経営・管理構造と機能、経営者の役割、労使関係等の特徴を詳しく検討することによって考える。</p> <p>新しいトピックや資料を取り扱う場合がある時は、計画を変更することがある。</p> <p>授業計画の概要は次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーションと「管理における日本的なもの」(第1、2回)</li> <li>2.「日本型企業内社会の再生産構造」(第3 - 8回)</li> <li>3.「共同態敵思考・行動の確立」(第9 - 13回)</li> <li>4.「共同態としての日本型企業内社会」(第14回)</li> <li>5.日本的経営システム再考(第15回)</li> </ol>
各科目の目標(達成水準)	授業で出てくる基本的概念の理解、に加えて当テーマに関する自分の意見を持ち自分の独自テーマの検討に資することをめざす。
参考文献等	適宜紹介する。
教科書	宮坂純一『日本的経営への招待』晃洋書房
成績評価の基準と方法	評価基準は、基本的概念の基本的理解、自分の意見の形成、その論理的な展開を見る。

<b>授業題目</b>	
企業情報システム論特論	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12516	2
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
講義	1
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
2学期	水曜日・1時間目
<b>履修における注意点</b>	
<b>担当教員名</b>	円谷 友英
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科国際交流研究
<b>担当教員電話</b>	088-884-8212
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:entani@kochi-u.ac.jp">entani@kochi-u.ac.jp</a>
<b>授業テーマと目的</b>	サプライチェーンマネジメントの概念を理解し、チェーン上の各プレイヤー間の情報共有による生産管理手法を学ぶ
<b>授業計画</b>	情報技術の発達により、膨大なデータベースを処理することが可能となり、従来からある生産管理手法の計算量に関する限界の多くは取り払うことができた。しかしながら、需要や価値観の多様化、また販売チャネルや製造工程の複雑化により、製造業の姿がめまぐるしく変化していく中で、従来の生産管理の概念を拡張するだけでは対応できない問題に直面している。そこで、新たな生産管理の概念として、APSが1990年代後半に提唱された。この授業ではAPSに関する5編の論文を読み、 サプライチェーンマネジメントの基本概念 歴史がある生産管理手法MRP(Material Requirements Planning)の長所と短所 MRPとの比較から APS(Advanced Planning and Scheduling)出現の理由と必然性 APSの論理構造 APSの活用事例の5点について理解する。講読する論文は「APSの理論構造-MRPからの離脱-」「APSにおけるオーダー評価方法に関する一考察」「ネットワーク型SCMにおけるAPSの役割」「引当処理の特長とAPSにおける機能化」「APS導入の実際-現場からの報告」の5編である。このほか適宜論文を追加する予定である。
<b>達成目標(達成水準)</b>	サプライチェーンマネジメントにおける生産管理のあり方を理解する
<b>授業時間外の学習</b>	論文の予習(毎回)とプレゼン準備(隔回)
<b>教科書・参考書</b>	オペレーションズ・リサーチ(特集「SCM時代における生産管理の新概念APS」2004.9)
<b>成績評価の基準と方法</b>	出席と授業への参加度(80%)と最終報告(20%)

授業コード	12265	授業題目	近代日本政治史演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	小幡 尚			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	844-8187			担当教員E-Mail	<a href="mailto:h-obata@kochi-u.ac.jp">h-obata@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	日本近代史(行刑史・治安維持法史などを中心とする近代日本刑事政策史研究)
授業計画	<p>アジア・太平洋戦争期の政治史を扱った下記テキストの精読を主たる内容とする。テキスト所収の論文を1編ずつ丁寧に読んでいく。</p> <p>参加者は、毎回扱う論文に関するレジメを作成しなければならない。レジメには、論文の要約、論文で扱われている史実に関する確認、これまでの研究の達成点・問題点などである。授業時間においては、担当教員を含め、参加者全員で討議を行なう。</p>
各科目の目標(達成水準)	アジア・太平洋戦争期の政治史の概略を理解し、当該研究分野の現在の研究水準をある程度理解すること。また、学術論文を正確に読む力を身に付けること。
参考文献等	授業時間中に適宜紹介する。
教科書	吉田裕 [ほか]『岩波講座アジア・太平洋戦争2 戦争の政治学』(岩波書店、2005年)
成績評価の基準と方法	学期末のレポートを成績評価の主たる材料とする。テキスト所収論文の主旨を正確に捉え、それに対する自身の見解が論理的に述べられているかどうか採点の重点である。

授業コード	12360	授業題目	憲法	演習	単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1	曜日・時限 火曜 / 2時限
担当教員名	青木宏治			担当教員所属	人文科学研究科地域日本研究分野	
担当教員電話	844-8255			担当教員E-Mail	<a href="mailto:aokiko@kochi-u.ac.jp">aokiko@kochi-u.ac.jp</a>	

履修における注意点	
教員研究テーマ	
授業計画	日本国憲法の諸原理を比較、歴史の視点から掘り下げて検討する。主には平和主義、ジェンダー、経済的自由について検討する。基本的にはテーマごとに毎回、報告、問題提起を受講院生が行い、討論を行う。適宜、研究方法、先行研究についての学説等の講義を実施する。
各科目の目標(達成水準)	修士論文を書くに必要なreviewを試みる。
参考文献等	特になし。
教科書	特になし。
成績評価の基準と方法	参加状況と作成論文を加味して評価する。

<b>授業題目</b>	
公益事業論演習	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12376	2単位
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
講義	2年次
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
1学期	土曜・3時限
<b>履修における注意点</b>	
特になし	
<b>担当教員名</b>	上田 健作
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科地域日本研究分野
<b>担当教員電話</b>	844 - 8224
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:kenueda@kochi-u.ac.jp">kenueda@kochi-u.ac.jp</a>
<b>授業テーマと目的</b>	医療専門職とは何か; 医療は、医師を頂点とする医療専門職のヒエラルキーによって担われてきた。このヒエラルキーにおいては医師の権限は絶大であり、その根拠は医師の専門職性によって与えられてきた。また、医師は、患者に対しても絶対的な地位を占めてきた。しかしながら、近年ではこの医師の絶対的地位が揺らぎつつあるといわれている。それは、他の専門職者に対しても、また患者に対してもである。医師に、絶大な権限を付与してきた専門職性とは何か、なぜ今日それが揺らいできているのかを本演習では検討する。この検討を通じて、医療専門職とは何かを理解すると共に、21世紀の医療従事者のあり方を考える。
<b>授業計画</b>	テキストを題材に1学期間で読みきる程度のゆっくりとしたテンポで課題を検討する。
<b>達成目標(達成水準)</b>	医療における専門職とは何か。医療専門職者の権限の根拠は何かを理解する。受講生の研究に専門職支配論が活かせるようになる。
<b>授業時間外の学習</b>	
<b>教科書・参考書</b>	エリオット・フリードソン、進藤雄三・宝月誠訳『医療と専門家支配』(恒星社厚生閣)。参考書は適宜紹介。
<b>成績評価の基準と方法</b>	医療専門職論が受講生それぞれの医療・福祉研究にどのようにいかせるかに関するレポートを提出してもらい、そのできによって成績を評価する。専門職支配論の概要が理解できていれば合格(60点)。どのように自分の研究に活用できるか明確にできた度合いでそれ以上の成績を評価する。

<b>授業題目</b>	
公益事業論特論	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12313	2単位
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
講義	1年次
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
1学期	月曜日6時限
<b>履修における注意点</b>	
特になし	
<b>担当教員名</b>	上田 健作
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科地域日本研究分野
<b>担当教員電話</b>	844 - 8224
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:kenueda@kochi-u.ac.jp">kenueda@kochi-u.ac.jp</a>
<b>授業テーマと目的</b>	病院機能再編成下における療養型病床病院の機能再編;現在進みつつある病院機能の再編成は、入院医療と診療所医療(プライマリケア)の機能分化、ならびに入院医療における急性期ケア、回復期ケア、長期ケア等の機能分化を推し進めることを主眼としている。今日まで、療養型病床を中心に経営を行ってきた病院は、その機能を回復期ケアに特化するか、老人介護施設への転換を選択するかを迫られている。本授業では、療養型病床病院の機能再編において看護ケアシステムの再構築が如何になされるべきかを中心課題として検討するとともに、回復期病院への転換を実現する諸条件を考察する。
<b>授業計画</b>	(1)受講生が研究対象とする療養病床病院を事例に、機能再編下における看護ケアシステム再構築の問題点又は課題の明確化。(2)当該課題の解決に向けた病院組織のあり方、看護ケアシステムのあり方、その構築方法の検討を、いくつかのテキストを参考に考える。
<b>達成目標(達成水準)</b>	病院の機能再編下における看護ケアシステム再構築課題の明確化が具体的事例に即してできれば目標を100%達成。
<b>授業時間外の学習</b>	予習あり。
<b>教科書・参考書</b>	高橋淑郎編著『医療経営のバランス・スコアカード - ヘルスケアの質向上と戦略的病院経営ツール』生産性出版、2004年その他
<b>成績評価の基準と方法</b>	受講生が研究対象とする具体事例について、看護ケアシステム再構築の課題を析出したレポートが作成できれば合格とする。一般論を踏まえたレポートになれば100点。

授業コード	12273・ 12274	授業題目	考古学演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1・2年	開講時期	2・1学期	曜日・時限	水曜2限
担当教員名	清家章			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	844-8211			担当教員E-Mail	<a href="mailto:aseike@kochi-u.ac.jp">aseike@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	弥生時代～古墳時代を中心とした日本考古学の研究
授業計画	修士論文のテーマに沿った研究発表を行い、その内容を指導する。また、受講生の研究テーマと関連する論考を精読し、内容を討議する。今年度は福永伸哉著2005『三角縁神獸鏡の研究』大阪大学出版会を講読する。
各科目の目標(達成水準)	修士論文の基礎的構想を完成する。
参考文献等	
教科書	福永伸哉2005『三角縁神獸鏡の研究』大阪大学出版会
成績評価の基準と方法	平常点(出席と発表内容)。

<b>授業題目</b>	
国際金融論演習	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12553・12554	各2単位
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
演習	1年
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
1・2学期	月曜3限
<b>履修における注意点</b>	
<b>担当教員名</b>	紀国正典
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科国際交流研究分野
<b>担当教員電話</b>	088-844-8237
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:kinokuni@kochi-u.ac.jp">kinokuni@kochi-u.ac.jp</a>
<b>授業テーマと目的</b>	世界における不良債権処理の動向と比較調査。日本、中国、アメリカにおける不良債権処理の方法と課題を調査・分析すること。これによって、それぞれの国における特徴を分析すること。
<b>授業計画</b>	日本における不良債権処理の時系列分析。その特徴について文献、新聞記事、とWebサイト調査。授業の目的に沿う資料・情報を大学院生に報告してもらい、ディスカッションにより、その分析を深める作業。日本が終わり次第、中国、アメリカと分析の範囲を拡大していく予定。
<b>達成目標(達成水準)</b>	上記内容で、不良債権の処理動向について、国際的な特徴を把握できること。
<b>授業時間外の学習</b>	上記の文献・情報調査活動と学習
<b>教科書・参考書</b>	
<b>成績評価の基準と方法</b>	報告の内容と程度で判断する。



授業コード	12551	授業題目	国際経済論演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	2学期	曜日・時限	水曜 2時限
担当教員名	大石達良			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844 - 8250			担当教員E-Mail	<a href="mailto:otaturou@kochi-u.ac.jp">otaturou@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	日本企業の国際展開
授業計画	「国際経済と環境問題」をテーマに、その理論を学び、現状分析を行う。まず導入的なテキストを用いて基礎的な学習を行い、その後、受講生の関心に合わせてより分野を絞った検討を行う。基礎的学習の内容は次の通り。(1)地球環境問題の社会的側面、(2)地球温暖化問題の構造と評価、(3)地球環境の保全と京都メカニズム、(4)環境と貿易、(5)国際資本移動と途上国の環境問題、(6)地球環境問題と発展途上国、(7)地球環境問題をめぐる国際的取り組み、(8)地球環境問題と国際環境法。
各科目の目標(達成水準)	地球環境問題を、国際経済の理論を用いて分析できるようになること。
参考文献等	
教科書	森田恒幸・天野明弘編『地球環境問題とグローバル・コミュニティ』岩波書店、2002年
成績評価の基準と方法	予習状況、授業中の議論への参加状況、期末の口頭試問によって評価。評価のウェイトは予習・授業参加が7割、口頭試問が3割。

授業コード	12501	授業題目	国際経済論特論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	1学期	曜日・時限	水曜 2時限
担当教員名	大石達良			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844 - 8250			担当教員E-Mail	otaturou@kochi-u.ac.jp		

履修における注意点	
教員研究テーマ	日本企業の海外進出
授業計画	国際経済論の基礎を学ぶ。テキストにそって質疑応答および討論を行う。主な内容は以下の通り。 (1)国際化の中の日本、(2)外国為替取引と為替レート、(3)国際収支と国際マクロ経済学、(4)国際資金フローと国際金融市場、(5)国際貿易の基本構造、(6)変貌する通商システム、(7)直接投資と企業のグローバル展開
各科目の目標(達成水準)	国際経済の現実および国際経済理論に関する基礎的な知識を得ること。
参考文献等	
教科書	伊藤元重『ゼミナール国際経済入門(改訂第3版)』日本経済新聞社、2005年
成績評価の基準と方法	授業中の議論への参加状況によって評価。

<b>授業題目</b>	
財政学演習	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12379	2
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
演習	1年
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
1学期	火曜日6限
<b>履修における注意点</b>	
特になし	
<b>担当教員名</b>	鈴木啓之
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科地域・日本研究分野
<b>担当教員電話</b>	8245(内線)
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:hsuzuki@kochi-u.ac.jp">hsuzuki@kochi-u.ac.jp</a>
<b>教員研究テーマ</b>	テーマ:「日本・合衆国・アジア地域の金融危機対策について」 目的:受講生の研究目標に合わせて、金融危機対策の研究を行う
<b>授業計画</b>	日本・合衆国・韓国などの金融危機対策について、随時、文献・資料によりながら学習する。また、受講生の研究報告を月に1回織り込む予定である。
<b>達成目標(達成水準)</b>	1学期中には、合衆国の事例を中心に学習し、日本やアジア諸国の金融政策との比較を行う基礎的な学習を行う。
<b>参考文献</b>	文献を炊事紹介するので、それを予習してもらう。
<b>教科書・参考書</b>	龍昇吉編著『現代の財政金融』日本評論社、他
<b>成績評価の基準と方法</b>	平常点50%、レポート50%で評価する。

<b>授業題目</b>	
財務会計論特論	
<b>授業コード</b>	<b>単位数</b>
12510	2単位
<b>授業種別</b>	<b>履修開始年次</b>
講義	1年次1学期
<b>開講時期</b>	<b>曜日・時限</b>
1学期	木曜日・5時限
<b>履修における注意点</b>	
<b>担当教員名</b>	伊丹 清
<b>担当教員所属</b>	人文社会科学研究科国際交流研究分野
<b>担当教員電話</b>	8242
<b>担当教員E-Mail</b>	<a href="mailto:itami@kochi-u.ac.jp">itami@kochi-u.ac.jp</a>
<b>授業テーマと目的</b>	日本の会計基準・会計制度の理解
<b>授業計画</b>	テキストに沿って予習をし、それを報告してもらった後、要点の解説ならびに議論を行う。
<b>達成目標(達成水準)</b>	日本の会計基準・会計制度の概略を理解する
<b>授業時間外の学習</b>	報告の準備
<b>教科書・参考書</b>	伊藤邦雄著『ゼミナール 現代会計入門』日本経済新聞社
<b>成績評価の基準と方法</b>	出席・報告とレポートの総合評価

授業コード	12806	授業題目	情報処理演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年	開講時期	1学期	曜日・時限	集中
担当教員名	斎藤 昌人			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8200			担当教員E-Mail	<a href="mailto:mt-saito@kochi-u.ac.jp">mt-saito@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	
授業計画	「情報」を処理する能力を養う。単なる情報収集の能力ではなく、情報を吟味し、それを研究に活用するための能力を養う。あわせて、論文を書くうえで必要となるパソコンの処理能力、ならびにプレゼンテーション能力も養う。
各科目の目標(達成水準)	情報を収集し、それを処理・活用し、そしてパワーポイント等でプレゼンテーションを行なうことを目標とする。
参考文献等	特になし
教科書	使用しない
成績評価の基準と方法	出席状況と与えられた課題の理解度を総合的に判断する。

授業コード	12656	授業題目	人間存在論演習 II			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2年	開講時期	1学期	曜日・時限	月曜日・第6時限
担当教員名	武藤整司			担当教員所属	人文科学研究科人間学研究分野		
担当教員電話	844 - 8497			担当教員E-Mail	muto@kochi-u.ac.jp		

履修における注意点	積極的な態度で参加すること
教員研究テーマ	人間性をめぐる問題、とくにフランス・モラリストの視点を重視
授業計画	原則として、テキストを精読してゆく。 原文と現代語訳を併せ読むことによって、著者の意図を探るとともに、当時の状況を考察する。
各科目の目標(達成水準)	テキストの深い理解
参考文献等	適宜、演習中に指示
教科書	『中江兆民 三酔人経綸問答』(岩波文庫) 『中江兆民全集8』(岩波書店)
成績評価の基準と方法	平常点で評価。場合によってはレポートを課す

授業コード	12761	授業題目	西洋思想文化論演習Ⅰ			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	2学期	開講時期	2学期	曜日・時限	水曜1時限
担当教員名	高橋克己			担当教員所属	人文社会科学研究科人間学研究分野		
担当教員電話	088-844-8210			担当教員E-Mail	<a href="mailto:brodwein@kochi-u.ac.jp">brodwein@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	健康第一を旨に体調を整え授業を休まないよう努力する点
教員研究テーマ	西洋思想史
授業計画	<p>や や や 等に関連する古代ギリシア語・ラテン語文献(ヘレニズム期から西ローマ帝国滅亡476年頃まで)に触れてゆく。例えば、ヘラクレイトスの(出典:『ディオゲネス・ラーエルティオス』9・7-10)、プラトーン著『ティーマイオス』27C以下の創世神話(特に48Aの と )、ストア派ゼーノンの や や (出典:『ディオゲネス・ラーエルティオス』7・52以下)、ヘブライ語聖書に収録されなかった『70人訳ギリシア語聖書』所収『知恵(の書)』9・1の、これに影響され、かつプラトーン哲学を聖書解釈に活用したユダヤ教徒ピロンの『創世記註解』24の「神の」等々。以上以外にもプラトーン学派プルートアルコス著『イーシスとオシーリス』372E-373Cの や、『ヘルメース文書』1の「神の」や や や、プロテーノスの『エネアデス』3・5・7-9の や や、アウグスティヌス著『告白』7・9の (verbum)や『告白』11.5の (materia)等々にも話題を広げる。</p>
各科目の目標(達成水準)	ヘレニズム期から西ローマ帝国滅亡476年頃までの西洋思想の基本概念を学ぶ
参考文献等	授業計画の文面に示された原典ギリシア語・ラテン語の文献
教科書	授業計画の文面に示された原典ギリシア語・ラテン語の和訳文献
成績評価の基準と方法	根気良く授業に出席し、毎回学習する内容を自分できちんと整理してゆく能力を評価。

授業コード	12706	授業題目	西洋思想文化論特論			単位数	2単位
授業種別	分野講義科目	履修開始年次	1学期	開講時期	1学期	曜日・時限	水曜1時限
担当教員名	高橋克己			担当教員所属	人文社会科学研究科人間学研究分野		
担当教員電話	088-844-8210			担当教員E-Mail	<a href="mailto:brodwein@kochi-u.ac.jp">brodwein@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	健康第一を旨に体調を整え授業を休まないよう努力する点
教員研究テーマ	西洋思想史
授業計画	<p>紀元1世紀の重要文献である『新約聖書』の中の『ヨハネ福音書』1・1-11を、ラテン語文法の基礎知識の整理も兼ねて、まず400年頃のヒエロニムスによる羅訳、つまり後1546年ローマ・カトリック教会が公会議で正典として公認した『ウルガータ聖書』で読み、ラテン語訳で理解可能な範囲において、principiumやverbumやvita等を掴む。次に同じ『ヨハネ福音書』1・1-11の原典を、古代ギリシア語文法の基礎知識の整理も兼ねて、特にラテン語で汲み尽くせない豊かな言葉、  や や 等を重視し、また羅訳ではfactum estと同じ完了過去で片付けられているが、原典ギリシア語では第二アオリスト過去 と完了過去  で別に表現されている動詞の相にも着目して、注意深く読む。更に と  との関連で重要な『創世記』1・1-7をも同様に、ラテン語文法の基礎知識の整理も兼ねて『ウルガータ聖書』で読み、かつ紀元前3世紀以降翻訳された『70人訳ギリシア語聖書』で古代ギリシア語文法の基礎知識の整理も兼ねて注意深く読む。更に や や 等に関連する古代ギリシア語文献(ヘレニズム期から西ローマ帝国滅亡476年頃まで)に触れてゆく。例えばアリストテレスの『形而上学』983B-988A等々。</p>
各科目の目標(達成水準)	ヘレニズム期から西ローマ帝国滅亡476年頃までの西洋思想の基本概念を学ぶ
参考文献等	授業計画の文面に示された原典ギリシア語・ラテン語の文献
教科書	授業計画の文面に示された原典ギリシア語・ラテン語の和訳文献
成績評価の基準と方法	根気良く授業に出席し、毎回学習する内容を自分できちんと整理してゆく能力を評価。



授業コード	12705	授業題目	西洋社会経済思想史特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1・2	開講時期	1学期	曜日・時限	木曜日5時間目
担当教員名	天羽康夫			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究		
担当教員電話	844-8230			担当教員E-Mail			

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	近代社会思想史
	アダム・スミスの『道徳感情論』を読む
各科目の目標(達成水準)	スミスの近代市民社会論を理解する
参考文献等	スミス『道徳感情論』岩波文庫
教科書	
成績評価の基準と方法	報告と出席状況

授業コード	12725	授業題目	西洋社会経済思想史演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木曜日4時間目
担当教員名	天羽康夫			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究		
担当教員電話	844-8230			担当教員E-Mail			

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	近代社会思想史
	アダム・スミスの『道徳感情論』4、5、6編を読む
各科目の目標(達成水準)	スミスの近代市民社会論を理解する
参考文献等	スミス『道徳感情論』岩波文庫
教科書	
成績評価の基準と方法	報告と出席状況

授業コード	12101・ 12102	授業題目	総合人文社会科学研究			単位数	各4単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年	開講時期	1・2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	複数教員			担当教員所属	人文社会科学研究科		
担当教員電話	内8199			担当教員E-Mail			
履修における注意点							
教員研究テーマ	それぞれの教員のシラパスを見てください。						
授業計画	総合高知研究・総合社会文化研究に分かれるが、授業は合同で行う。以下の手順で授業を行う。1 参加学生(新入院生全員)による自分の専門・修士論文テーマの簡単な報告 2 KJ法による課題探し、課題整理 3 分担と協働により調査・まとめ 4 報告会。1、2を一学期で、2、3を2学期におこなう。昨年度までは報告書を作成していたが今年度は口頭による報告のみとする。担当教員は、小澤(万)、武藤、岩佐、上田、杉谷、福島。						
各科目の目標(達成水準)	基本的な調査・まとめ・報告のスキルを身につけるとともに、異なった専門の研究者との共同研究の方法を学ぶ。						
参考文献等							
教科書	特になし						
成績評価の基準と方法	授業での報告、最終レポート。						

授業コード	12365・ 12366	授業題目	地域流通市場史特論 特論 / 演習		単位数	各2単位
授業種別	講義・演習	履修開始年次	1・2	開講時期	特論1学期、演習2学期、演習1学期	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	田村安興			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野	
担当教員電話	844 - 8240			担当教員E-Mail	<a href="mailto:tamura@kochi-u.ac.jp">tamura@kochi-u.ac.jp</a>	
履修における注意点	研究室で授業を行う					
教員研究テーマ	地域経済 日本経済史					
授業計画	近代日本経済の中で市場流通の発展過程を研究する。また急速に変貌するアジア経済と地域経済の関係を研究する。研究方法は先行研究の論文購読と現地調査により行う。また田村の論文などを読み解説を加える。希望者は海外への調査を行う。講師テーマの学会誌を紹介し、希望者は学会に出席する。					
教科目の目標(達成水準)	論文の読み方と作成を指導する					
参考文献等	田村『日本中央市場史研究』(清文堂)					
教科書	論文等は印刷する					
成績評価の基準と方法	レポートと発表により評価					

授業コード	12262	授業題目	中世日本社会史演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2年次	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	津野倫明			担当教員所属	人文科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	844-8186			担当教員E-Mail	<a href="mailto:tuno@kochi-u.ac.jp">tuno@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	史料および関連文献(論文・著書など)に関する予習・復習
教員研究テーマ	日本中～近世初期の政治史
授業計画	1ガイダンス 2～口頭発表と議論
各科目の目標(達成水準)	研究史もふまえて、史料を解釈・操作する能力を習得する。
参考文献等	特に指定しない。
教科書	ガイダンス時に指定。
成績評価の基準と方法	史料とこれに関連する諸文献にもとづいた口頭発表。議論への参加。

授業コード	12483	授業題目	東アジア言語文化論演習			単位数	2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1年次	開講時期	2学期	曜日・時限	金曜 4限
担当教員名	中森健二			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8206			担当教員E-Mail	<a href="mailto:nakamori@kochi-u.ac.jp">nakamori@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	日本における中国文学の受容をめぐって
授業計画	中国文学、主に古典文学がどのように受容されてきたのかを、近現代の中国文学研究者および詩人などの著述を通じて考える。引用諸作品の現在の研究成果を視野に入れつつ、著名な論文・批評を精読していく。これらを通じて、日中の文学作品理解の相違点なども明らかにしていきたい。
各科目の目標(達成水準)	日本における中国文学受容の実態を理解すること。
参考文献等	授業の進度に応じて指示する。
教科書	プリントして配布。
成績評価の基準と方法	授業時の対応とレポートによる。

授業コード	12201	授業題目	日本古典文学論特論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月・4
担当教員名	福島 尚			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	088-844-8184			担当教員E-Mail	<a href="mailto:hukusima@kochi-u.ac.jp">hukusima@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	演習的に授業を進めるので、テキスト読解についての下調べは必須。
教員研究テーマ	日本古典文学(説話関連領域を中核とする)についての文献学的研究
授業計画	古記録(古代中世の歴史書・貴族日記等)の抄録的な説話集『古事談』を取り上げて、選読する。
各科目の目標(達成水準)	記録体で書かれた説話の読解能力を養成する。
参考文献等	小林保治校注『古事談』(古典文庫; 60,62)現代思潮社、峰岸明『変体漢文』(国語学叢書; 第1期11)東京堂出版など。
教科書	『新訂増補国史大系』本『古事談』、益田勝実『古事談鑑賞』(『国文学 解釈と鑑賞』昭和40年5月～昭和41年4月・プリントにて配布)、その他必要に応じて補充プリント。
成績評価の基準と方法	平常のテキスト読解における受講生の学習態度およびその成果により評価

授業コード	12457	授業題目	日本語コミュニケーション論演習1			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	奥村訓代			担当教員所属	人文科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8205			担当教員E-Mail			

履修における注意点	毎回の課題を確実に誠実に、一生懸命やってくる
教員研究テーマ	多文化共生論、日本語教授法、コミュニケーション技法
授業計画	前期行った講義を基に、実際に演習として毎回、課題を提供する。内容的には、「文章表現力」と「プレゼン能力」向上を主眼とする総合的なコミュニケーション能力の向上を目指す。題材(テーマ)は、各自に任せる。個人的な趣味から、現在研究中の内容にいたる何でも良い。但し、自己満足に終わらず、他人を説得でき、意義を感じさせられることが最大の課題である。
各科目の目標(達成水準)	修士論文作成に必要なノウハウと基礎固め(学会発表を含む)
参考文献等	ロジカルプレゼンテーション(・・・出版)、論理力を鍛えるトレーニングブック(かんき出版)等
教科書	個人差があるので面接後、指示する。
成績評価の基準と方法	発表と成果により判断する



授業コード	12404	授業題目	日本語コミュニケーション論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火曜1時限
担当教員名	奥村訓代			担当教員所属	人文科学研究科国際社会交流論分野		
担当教員電話	844-8205			担当教員E-Mail			

履修における注意点	毎回の課題を必ず持参する
教員研究テーマ	日本語によるコミュニケーション能力向上。
授業計画	日本語における総合的な表現力を身につける 1 文章表現力 2 口頭表現 3 視覚表現力
各科目の目標(達成水準)	学会発表力の養成
参考文献等	授業時に説明
教科書	授業時に説明
成績評価の基準と方法	出席・課題・授業参加度・試験

授業コード	12489	授業題目	日本語構造論演習			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	2学期	曜日・時限	火2
担当教員名	佐野由紀子			担当教員所属	人文科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話				担当教員E-Mail	<a href="mailto:ysano@kochi-u.ac.jp">ysano@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	現代日本語文法
授業計画	1. テーマを探す 2. 先行研究を批判的に読み・問題点を見つける 3. 分析する といった一連の作業を通し、論文の書き方を学ぶ。
各科目の目標(達成水準)	現代日本語文法の分析方法、論文の書き方を身につける。
参考文献等	授業の中で適宜紹介する。
教科書	なし
成績評価の基準と方法	発表、授業への取り組み100%

授業コード	12420	授業題目	日本語構造論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1年次	開講時期	1学期	曜日・時限	木3
担当教員名	佐野由紀子			担当教員所属	人文科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話				担当教員E-Mail	<a href="mailto:ysano@kochi-u.ac.jp">ysano@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	特になし
教員研究テーマ	現代日本語文法
授業計画	1～2. 文法研究における(1)基本事項(2)用例採集の方法(3)内省判断による分析方法(4)文献の探し方などについて講義を行う。 3～15. 日本語の文法に関する文献を読む。
各科目の目標(達成水準)	現代日本語の文法について、基礎的な分析方法を身につける。
参考文献等	授業の中で適宜紹介する。
教科書	『はじめての人の日本語文法』くろしお出版
成績評価の基準と方法	発表、授業への取り組み100%

授業コード	12567	授業題目	比較会計制度論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	村瀬儀祐			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8233			担当教員E-Mail	<a href="mailto:murase@kochi-u.ac.jp">murase@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	公正価値評価基準の経済的効果
授業計画	・経営戦略と原価 ・企業価値と株式価値 ・企業価値形成ドライバー ・貨幣の時間価値 ・リスクの概念 ・資本予算 ・DCFモデル ・超過利益モデル ・財務諸表分析
各科目の目標(達成水準)	企業価値分析の基本的能力を修得する
参考文献等	パレブ/バーナード/ヒリー『企業分析入門』(東京大学出版会)
教科書	ホーングレン他『マネジメント・アカウンティング』(Tac 出版)
成績評価の基準と方法	講義において課した問題の解答状況、並びにレポートをもって評価する。

授業コード	12509	授業題目	比較会計制度論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	特論	開講時期	特論 学 期、	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	村瀬儀祐			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8233			担当教員E-Mail	<a href="mailto:murase@kochi-u.ac.jp">murase@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	公正価値会計基準の制度的性質
授業計画	1..公正価値評価概念と算定方法、2.資本予算 3.資本コスト概念、5.財務諸表の構造、6.財務諸表を用いた企業価値分析、7.価値ドライバーの発見、9.公正価値評価の性格、10.公正価値と国際会計基準、11.財務諸表分析の限界
各科目の目標(達成水準)	公正価値評価方法の修得ならびに財務諸表分析の基礎的能力の修得
参考文献等	S.H.ペンマン財務諸表分析と証券評価
教科書	プリントを配布する
成績評価の基準と方法	小論文試験をもって評価する。

授業コード	12577	授業題目	比較経済システム論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1,2年次	開講時期	2学期	曜日・時限	火曜3限
担当教員名	保坂哲郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8232			担当教員E-Mail	<a href="mailto:hosaka@kochi-u.ac.jp">hosaka@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	市場経済移行諸国の制度的課題
授業計画	前期に引き続き中国経済改革の課題について教科書を使用しながら分析し、修士論文作成を準備していく
各科目の目標(達成水準)	現在の中国経済改革の現状と課題を分析し、特に日系企業の進出や中国証券市場改革を検討していく
参考文献等	
教科書	使用せず
成績評価の基準と方法	報告と討論の参加状況を基礎にして評価する。

授業コード	12514	授業題目	比較経済システム論特論			単位数	各2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1,2年次	開講時期	1学期	曜日・時限	火曜3限
担当教員名	保坂哲郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8232			担当教員E-Mail	<a href="mailto:hosaka@kochi-u.ac.jp">hosaka@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	市場経済移行諸国の制度的課題
授業計画	中国経済改革の課題について教科書を使用しながら分析していく
各科目の目標(達成水準)	現在の中国経済改革の現状と課題を分析する
参考文献等	
教科書	加藤弘之、上原一慶「中国経済論」
成績評価の基準と方法	報告と討論の参加状況を基礎にして評価する。

授業コード	12259	授業題目	比較文化論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	小澤萬記			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	内8199			担当教員E-Mail	<a href="mailto:ozawak@kochi-u.ac.jp">ozawak@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	比較文学・比較文化
授業計画	柳父章『翻訳語成立事情』をテキストに、いくつかの社会科学用語の成立と意味の変遷について検討する。取り上げる言葉は社会、個人、権利、自由の4つである。一つの語の検討に3時間程度かけて、特に現代におけるこれらのことばの用法に、歴史的な意味の変遷がどのように影響しているのか(あるいはいないのか)を探る。
各科目の目標(達成水準)	外来語の問題を参加者の専門分野と結びつけて検討することによって、専門用語の意味をより広い人文科学的観点から見られるようにする。
参考文献等	
教科書	柳父章『翻訳語成立事情』
成績評価の基準と方法	授業での報告、最終レポート。



授業コード	12260	授業題目	比較文化論演習			単位数	各2単位
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	オリエンテーション時に決定する
担当教員名	小澤萬記			担当教員所属	人文社会科学研究科地域・日本研究分野		
担当教員電話	内8199			担当教員E-Mail	<a href="mailto:ozawak@kochi-u.ac.jp">ozawak@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	比較文学・比較文化
授業計画	国立国語研究所による「外来語の言い換え」を手がかりにしながら、現代における翻訳語のありようを考える。具体的には、参加者の専門分野にかかわる外来語を抽出し、原語での意味・使われかた方に関して調査・報告した後、その言い換えの必要性、言い換え語の妥当性について検討する。最終的にはそれぞれの分野における新たな「言い換え提案」をまとめる。
各科目の目標(達成水準)	外来語の問題を参加者の専門分野と結びつけて検討することによって、専門用語の意味をより広い人文科学的観点から見られるようにする。
参考文献等	外来語言い換え提案 <a href="http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo/index.html">http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo/index.html</a> 、柳父章『翻訳語成立事情』
教科書	特になし
成績評価の基準と方法	授業での報告、最終レポート。

授業コード	12401	授業題目	文化・コミュニケーション論特論			単位数	2単位
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	月・4
担当教員名	丸井一郎			担当教員所属	人文社会科学研究科国際交流研究分野		
担当教員電話	844-8202			担当教員E-Mail	<a href="mailto:marui@kochi-u.ac.jp">marui@kochi-u.ac.jp</a>		

履修における注意点	
教員研究テーマ	言語相互行為、異文化間コミュニケーション
授業計画	メイナードの著書「会話分析」を通読し、日中の談話行動比較研究へのその適用可能性を検討する。特に談話内のおよび談話外的な社会・文化的要因の取り扱いに着目する。
各科目の目標(達成水準)	
参考文献等	K.S.メイナード『会話分析』、くろしお出版
教科書	
成績評価の基準と方法	出席とレポート